

第7次白老町総合計画 策定委員会（第1回）

町民と職員が町の未来をともに考える計画へ
～策定の過程そのものを、町民参加・職員参加の機会とする～

令和8年8月31日

- 1 委員紹介**
- 2 委員長挨拶**
- 3 策定委員会の体制と役割について**
- 4 白老町の現状について**
- 5 第6次白老町総合計画の概要について**
- 6 第7次白老町総合計画策定方針について**
- 7 意見交換**

委員紹介

1 委員長 大塩町長

2 副委員長 大黒副町長

**3 委員 井内教育長
全部長職 9名**

鈴木総務財政部長、山本町民生活部長、三上企画振興部長、
舩田都市整備部長、齊藤保健福祉部長、富川教育部長、
本間議会事務局長、本間病院事務長、小玉消防長

計 12名

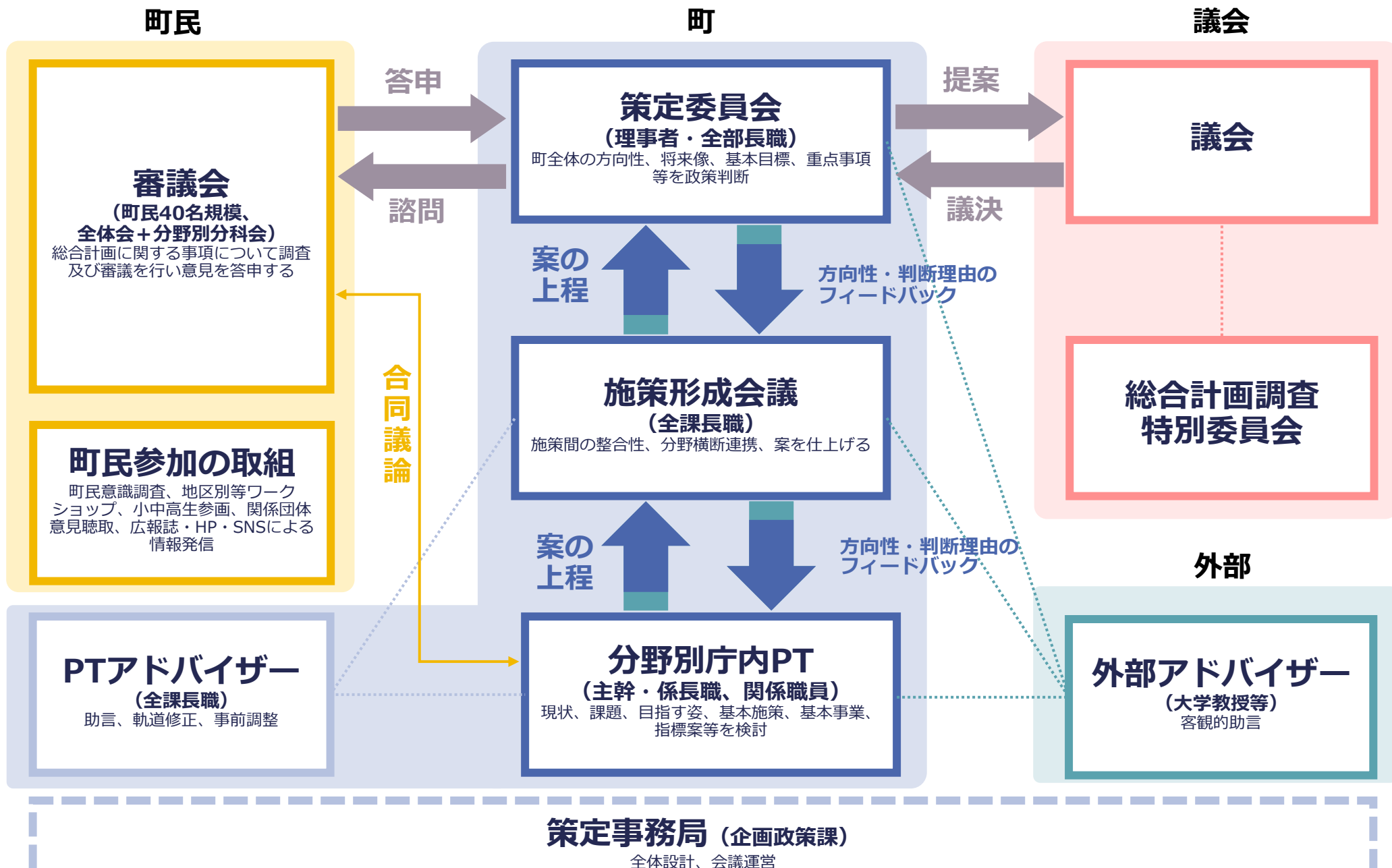
委員長挨拶

策定委員会の体制と役割

3 策定委員会の体制と役割について

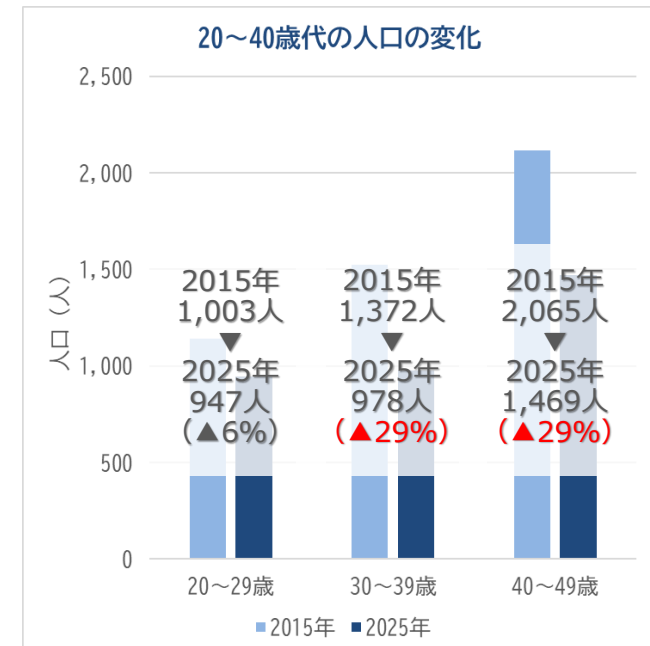
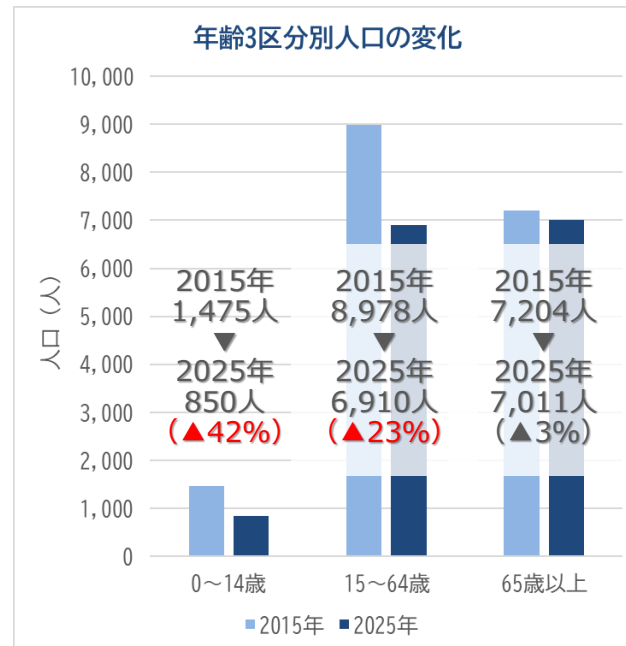
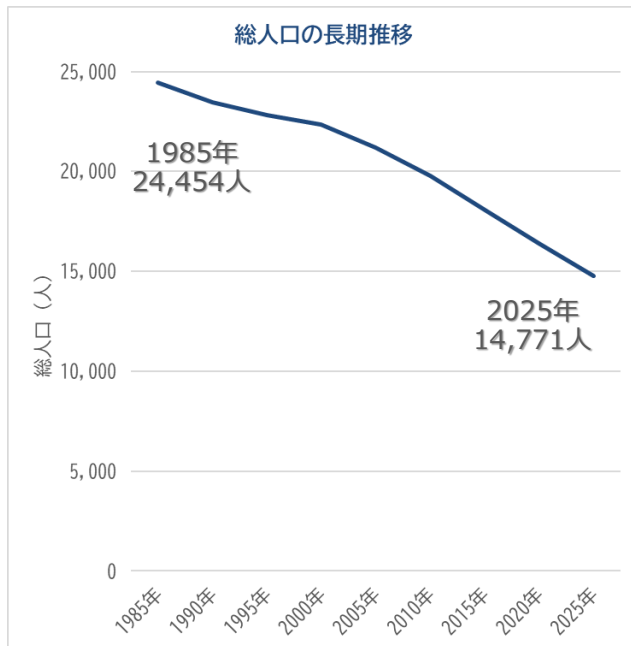
R8.8.31 第7次総合計画策定委員会（第1回）

6



白老町の現状

人口は減少している。 そして、その中身も大きく変わっている

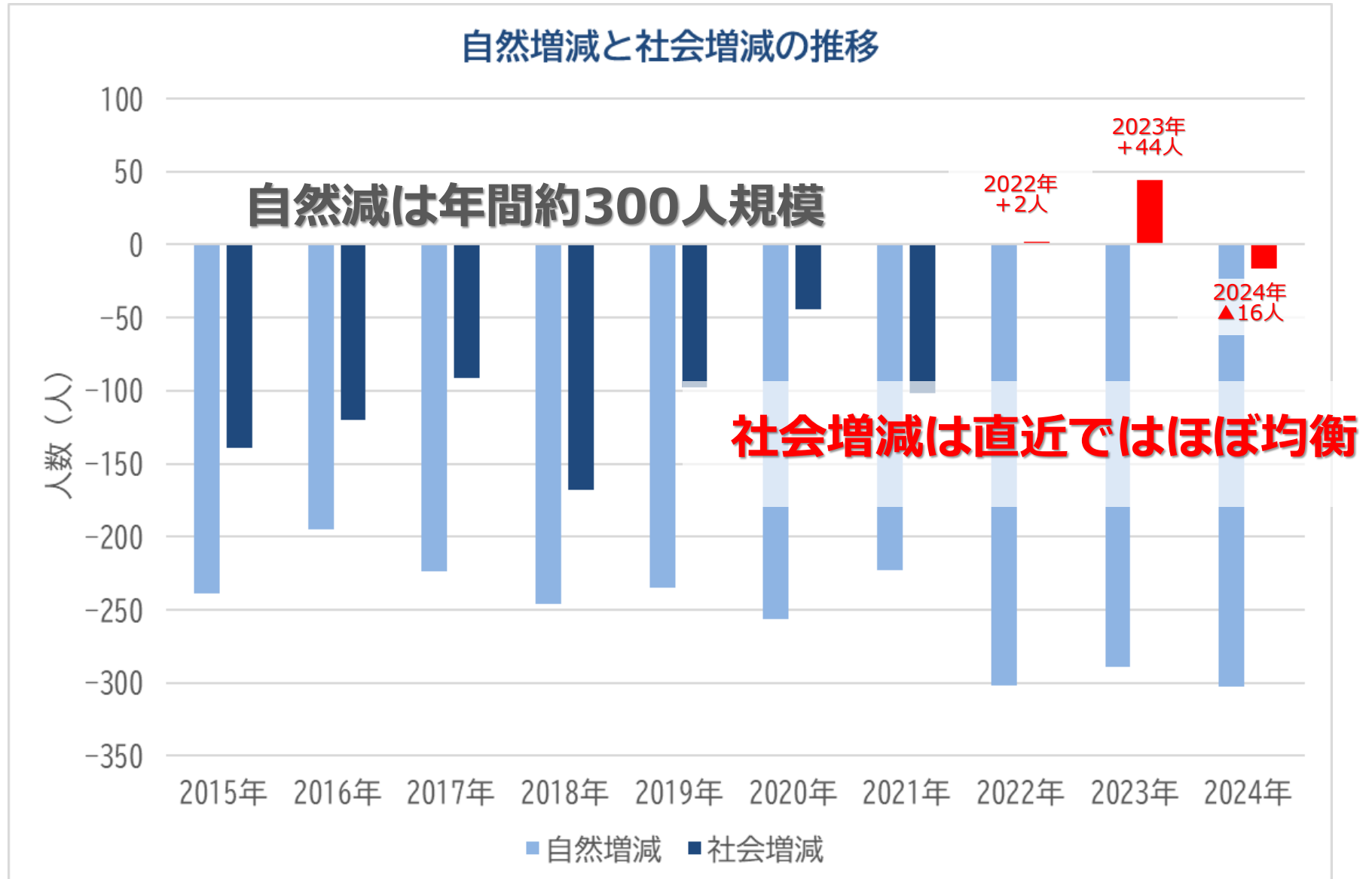


約40年間で4割減少

子どもと生産年齢人口が大きく減少
30～40歳代は約3割減少

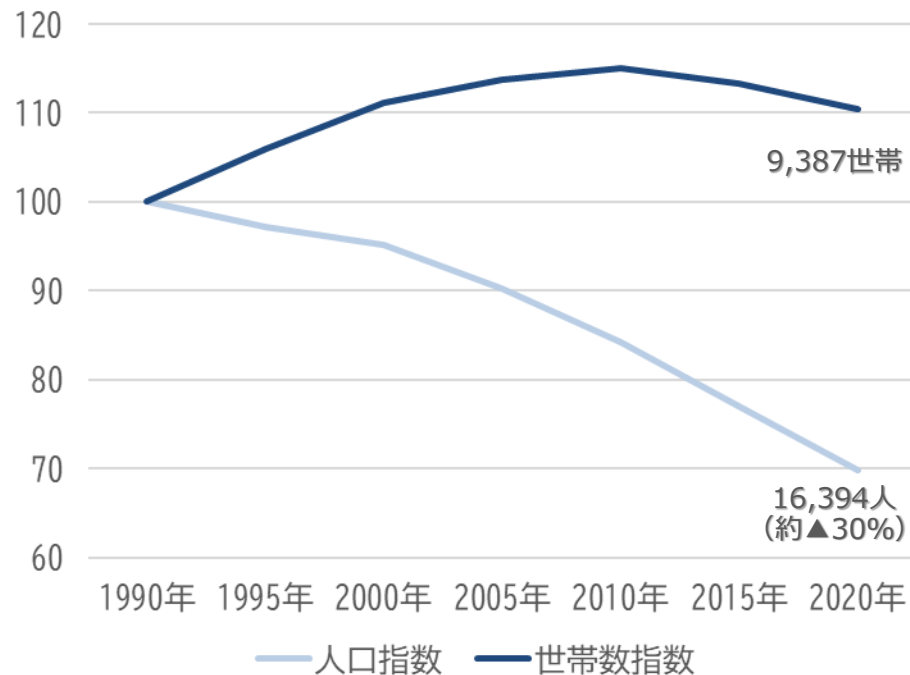
人口減少の課題は人数だけでなく、
地域を支える人口構成そのものの変化にある。

人口減少の主因は自然減。社会動態は近年、改善傾向。

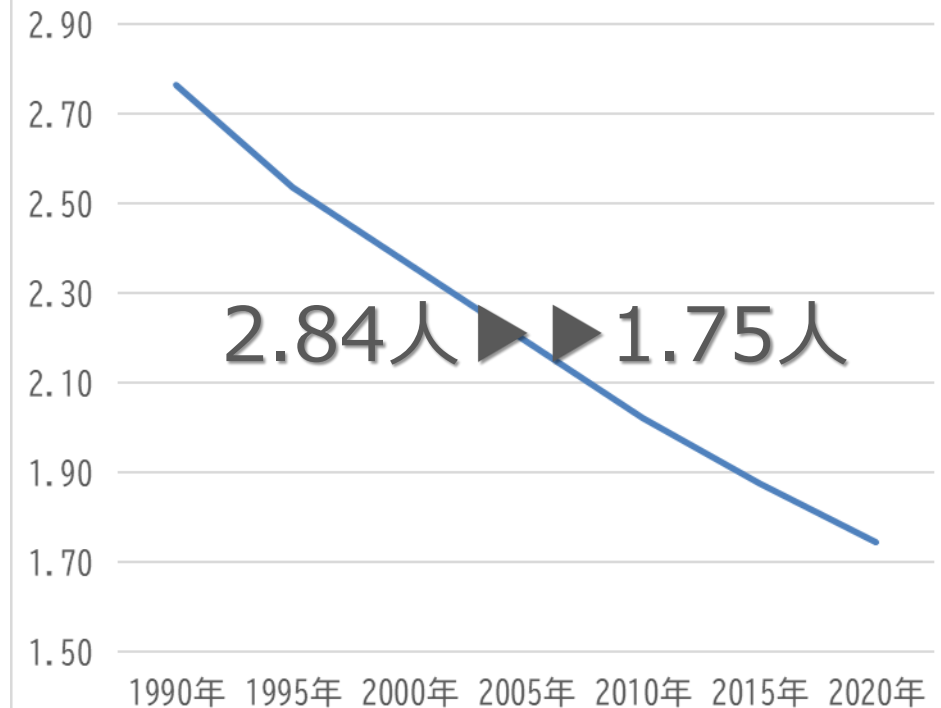


人口が減る一方、暮らしの単位は小さくなっている。

総人口と世帯数の推移
(1990年を100として指数化)

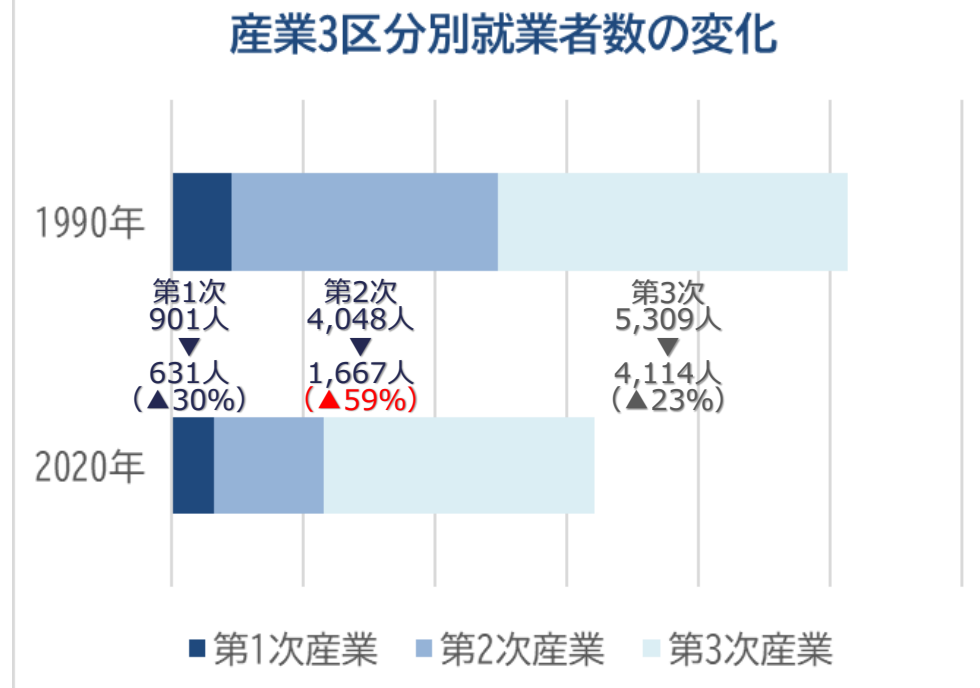
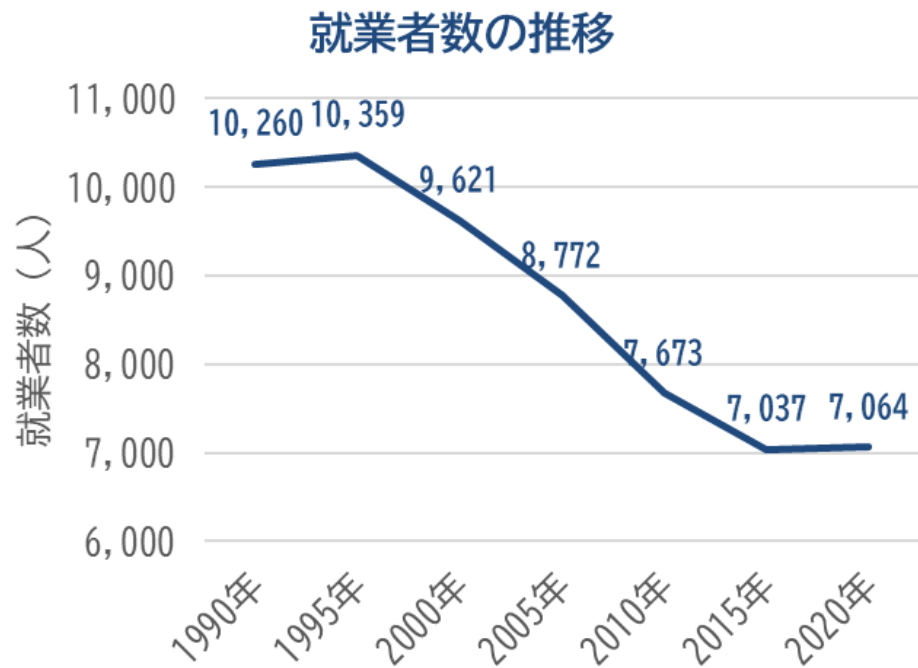


平均世帯人員の推移



人口総数だけでなく、世帯の小規模化も暮らしや行政サービスを考える重要な変化。

働く人は30年で約3割減少。
産業を支える人の構成も変化。



今後、人口・働き手の減少が続く中で、町内産業をどのように維持し、働く場を確保していくかが重要。

働き手が減少する中で、白老の産業と働く場をどう持続させていくか。

人口が減る一方、
白老を訪れ、応援する人とのつながりは広がっている。

観光入込客数

2015年 2024年
181万人 ▶▶ 232万人

年間 **230** 万人規模

宿泊客数

2015年 2024年
8万人 ▶▶ 12万人

約 **54** %増

ふるさと納税寄附額

2015年 2024年
1.3億円 ▶▶ 15億円

15 億円規模へ成長

人口が減少しても、
白老との接点まで減っているわけではない。

「何人が住んでいるか」だけでなく
「町外とどうつながるか」も重要。

まちへの愛着・生活満足度は上昇。
一方、年代によって受け止め方に差あり。

前回調査からの全体スコアの変化（2019→2025）

愛着

57.8% ▶▶ 60.0% (+2.2pt)

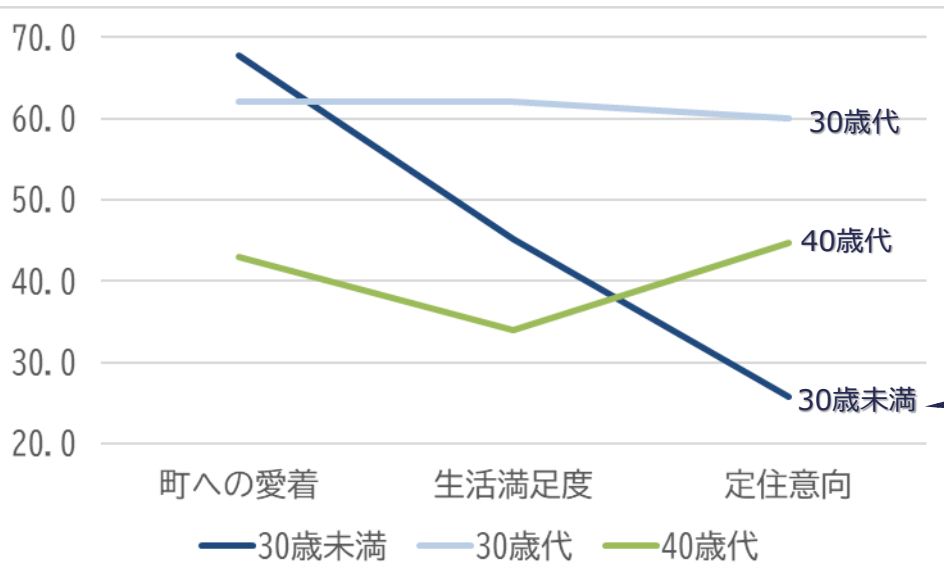
生活満足度

35.9% ▶▶ 53.5% (+17.6pt)

定住意向

54.3% ▶▶ 54.8% (+0.5pt)

年代別のスコア（2025）



「白老が好き」と
「住み続けたい」は
必ずしも同じではない。

30歳未満：愛着67.7%、定住意向25.8%

町民が重視する暮らしの基盤。 評価には強みと課題がある。

満足度 上位		重要度 上位		満足度 下位
1. 身近な安全		1. 上水道		1. 公共交通
2. 下水道		2. 下水道		2. 地域医療
3. 上水道		3. 身近な安全		3. 住環境（住宅）
4. 民族文化		4. 地域医療		4. 商工業
5. 消防・救急		5. 消防・救急		5. 産業連携・雇用

重要度4位に対し、満足度はワースト2

改善するものだけでなく、今ある良さを守ることも重要。

財政健全化は進展。
一方、将来に向けた財政余力の確保は引き続き重要。

地方債残高（負債）

2015年
223億円 ▶▶▶ 2024年
112億円

約半分に↓

基金残高（貯金）

2015年
11.5億円 ▶▶▶ 2024年
41.2億円

約3.6倍↑

実質公債費比率

2015年
19.1% ▶▶▶ 2024年
10.2%

経常収支比率

2015年
86.7% ▶▶▶ 2024年
89.8%

人口・担い手が減少する中、
限られた人員・財源を何に使い、何を維持し、何を見直すか。

◎まとめ

縮小しているものと、伸びているものが同時にある。

人口・担い手

地域を支える世
代の構成が変化。

人口動態

社会動態は改善。
一方、自然減は年
間約300人規模。

暮らし

人口減少と同時
に世帯の小規模
化が進行。

町外とのつながり

観光・宿泊・応
援など、伸びて
いるものがある。

暮らし・行政基盤

町民評価や財政に
改善が見られる一
方、課題も明確。

人口・担い手は確実に縮小している。
一方、社会動態、町外とのつながり、町民評価、財政基盤など、良い変化もある。
白老町は単純に「縮んでいる町」ではない。

守るもの | 変えるもの | 伸ばすもの

これからの白老にとって、本当に大切なものを選びなおす。

第6次白老町総合計画の概要

○構成・期間

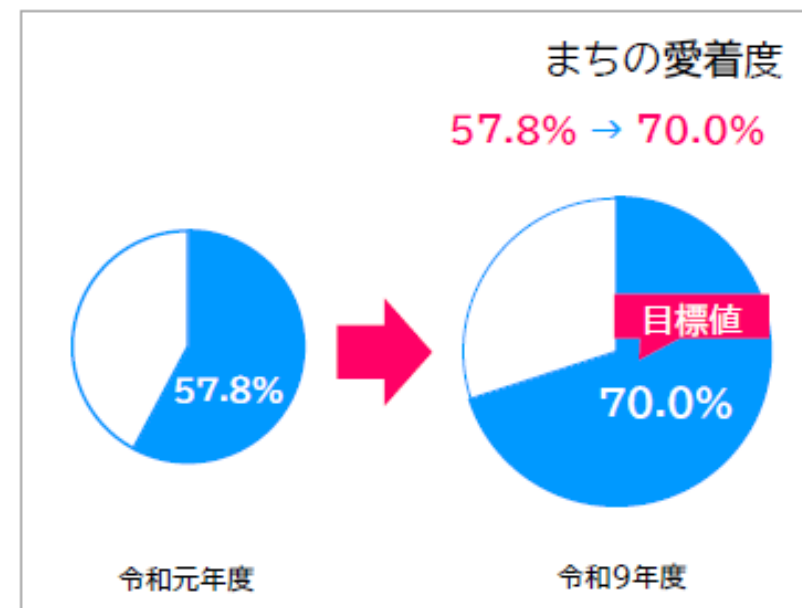
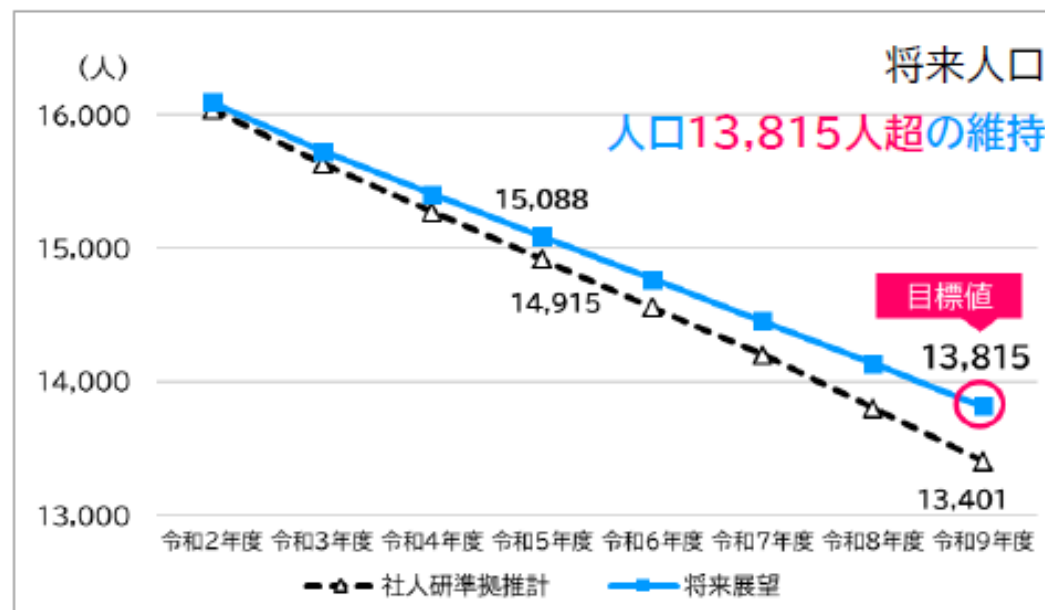
第6次白老町総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つの計画で構成し、目標年次を令和9年度とします。それぞれの計画期間は以下のとおりです。

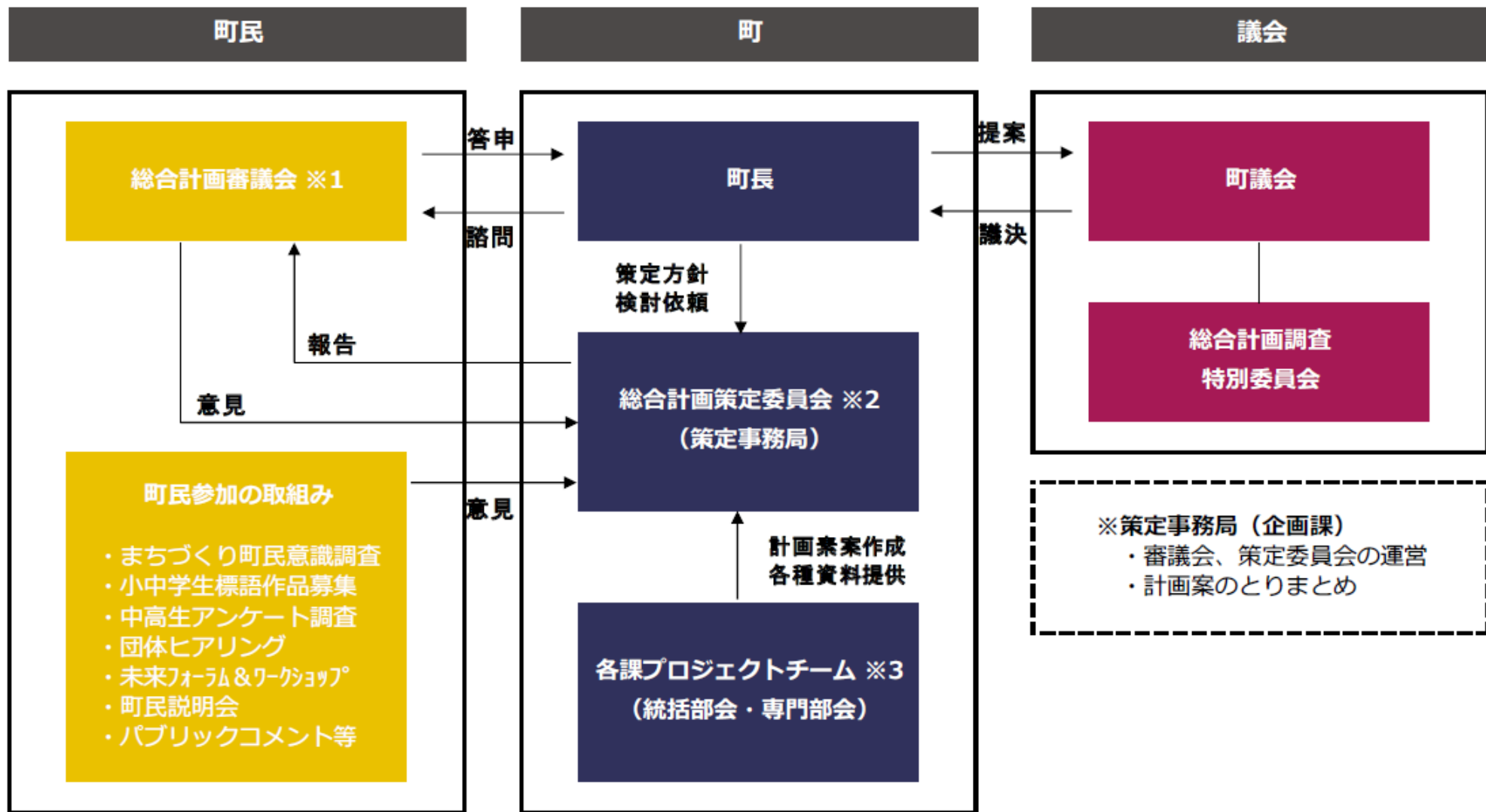
構 成		2	3	4	5	6	7	8	9
基本構想	長期的な視点に立ったまちづくりの指針となるもので、目指すべき将来像を定め、その実現に向けた基本目標等を示すものです。	基本構想 8年間 (令和2年度～令和9年度)							
基本計画	基本構想を実現するために行う施策や事業を体系化したもので、重点プロジェクトと分野別計画等から構成されます。	基本計画 8年間 (令和2年度～令和9年度) ※4年で見直し							
実施計画	基本計画で示された施策を実現するために事業内容や実施期間を明らかにして、各年度の行財政運営を具現化するものです。	実施計画3年間			実施計画3年間		実施計画3年間		以降、毎年度見直し

○計画体系



○主な成果指標





年月	審議会・策定委員会	町民参加	議会・行政
2019 4月	● 策定委員会委員の決定（4.2） ● 第1回策定委員会（4.25） まちの現状説明、策定方針の検討等	● まちづくり町民意識調査（4.26～5.24）	
5月	● 審議会委員の決定（5.7） ● 第1回審議会（5.24） まちの現状説明、策定方針の検討等 ● 審議会への諮問（5.24）	● 中学生アンケート調査（5.7～5.31） ● 小中学生まちづくり標語作品募集（5.20～5.31） ● 策定経過ホームページ公開（随時） ● 団体ヒアリング（5.30～8.27）	● 職員説明会（5.13） 策定方針の説明等 ● 議会総務文教常任委員会（5.15） 策定方針の説明 ● 各課プロジェクトチーム設置（5.21） 統括部会：10名、専門部会：45名
6月	● 第2回策定委員会（6.28） 第5次計画の評価・検証、第6次計画の骨格検討等	● 高校生アンケート調査（6.10～6.28）	● 各課PT第1回統括部会・専門部会 第5次計画の評価・検証等
7月	● 第2回審議会（7.12） 町民参加の取組報告、第5次計画の評価検証、第6次計画の骨格検討等		● 議会総務文教常任委員会（7.17） 第5次計画の評価検証の説明
8月	● 第3回審議会（8.9） 町民参加の取組報告、まちづくり標語の審査、まちの課題整理等	● しらおい未来フォーラム&まちづくりワークショップ（8.9）	● 各課PT第2回統括部会・専門部会 基本計画の骨格検討等
9月	● 第4回審議会（9.26） 町民参加の取組報告、まちの課題整理、まちの将来像の検討等	● 小中学生まちづくり標語表彰式（9.3）	● まちづくり町民意識調査に基づく顧客満足度（CS）分析結果報告
10月	● 第5回審議会（10.31） 将来目標人口の検討、総論・基本構想（案）の検討等		● 各課PT第3回統括部会・専門部会 基本計画（案）の検討 ● 各課PT第4回統括部会・専門部会 総論・基本構想（案）の意見聴取

11月	● 第6回審議会（11.29） 基本計画（案）の検討、評価指標の検討等		● 各課PT第5回統括部会・専門部会 基本計画（案）の検討
12月	● 第7回審議会（12.19） 基本計画（案）の検討 ● 第3回策定委員会（12.23） 総論・基本構想・基本計画（案）の検討 ● 第8回審議会（12.26） 基本計画（案）の検討		
2020年 1月		● 町民説明会（1.28・1.29・1.30）	● 職員説明会（1.15） 総論・基本構想・基本計画（案）の説明 ● 議会全員協議会（1.24） 総論・基本構想・基本計画（案）の説明
2月		● パブリックコメント（1.31～2.29）	● 議会調査特別委員会設置(2.18)
3月	● 第9回審議会（3.24） 町民説明会・パブリックコメント結果報告、 第6次計画(案)の最終確認、答申の内容確認等 ● 審議会からの答申（3.24） ● 第4回策定委員会（3.30） 町民説明会・パブリックコメント結果報告、 答申の報告、第6次計画(案)の最終確認	● パブリックコメントの回答・結果公表（3.16）	● 第1回総合計画調査特別委員会（3.27）
4月			● 第2回総合計画調査特別委員会（4.10） ● 第3回総合計画調査特別委員会（4.24）
5月	● 第5回策定委員会（5.22） 特別委員会の結果報告、第6次計画上程案の検討		● 第4回総合計画調査特別委員会（5.15）
6月			● 第6次計画（案）の上程（6.12） ● 第6次計画（案）の審議・可決（6.19）

第7次白老町総合計画策定方針

※別紙参照

第6次総合計画終了（令和9年度）

第7次総合計画（令和10年度～令和17年度の8年間）



人口減少・少子高齢化



人材・財源の制約



デジタル化の推進



価値観・暮らし方の多様化



公共施設・インフラの老朽化



災害の激甚化

これからの8年間、
「何を守り、何をより良くし、何を選び直すのか」を考える期間

継承するもの

- 自治基本条例に基づく町の最上位計画
- 8年間の将来像とまちづくりの方向性
- 町民と行政の協働によるまちづくり
- 持続可能性を重視する考え方
- 基本構想・基本計画・実施計画の基本的な関係

第7次で刷新するもの

- 施策の網羅から、重要課題の明確化へ
- 完成後の意見募集から、途中段階からの共創へ
- 一部の職員による策定から、職位に応じた全庁的な関与へ
- 策定して終わる計画から、進捗を共有し使い続ける計画へ
- 指標（KPI）の重点化と、暮らしの変化を実感できる指標の設定へ

「分厚い説明書」から、みんなで使う「羅針盤」へ

計画内容だけでなく、策定プロセス全体を貫く基本方針

1 町民に身近で、
わかりやすい
計画

2 町民とともに
つくる計画

6 実行と
進行管理
につながる
計画

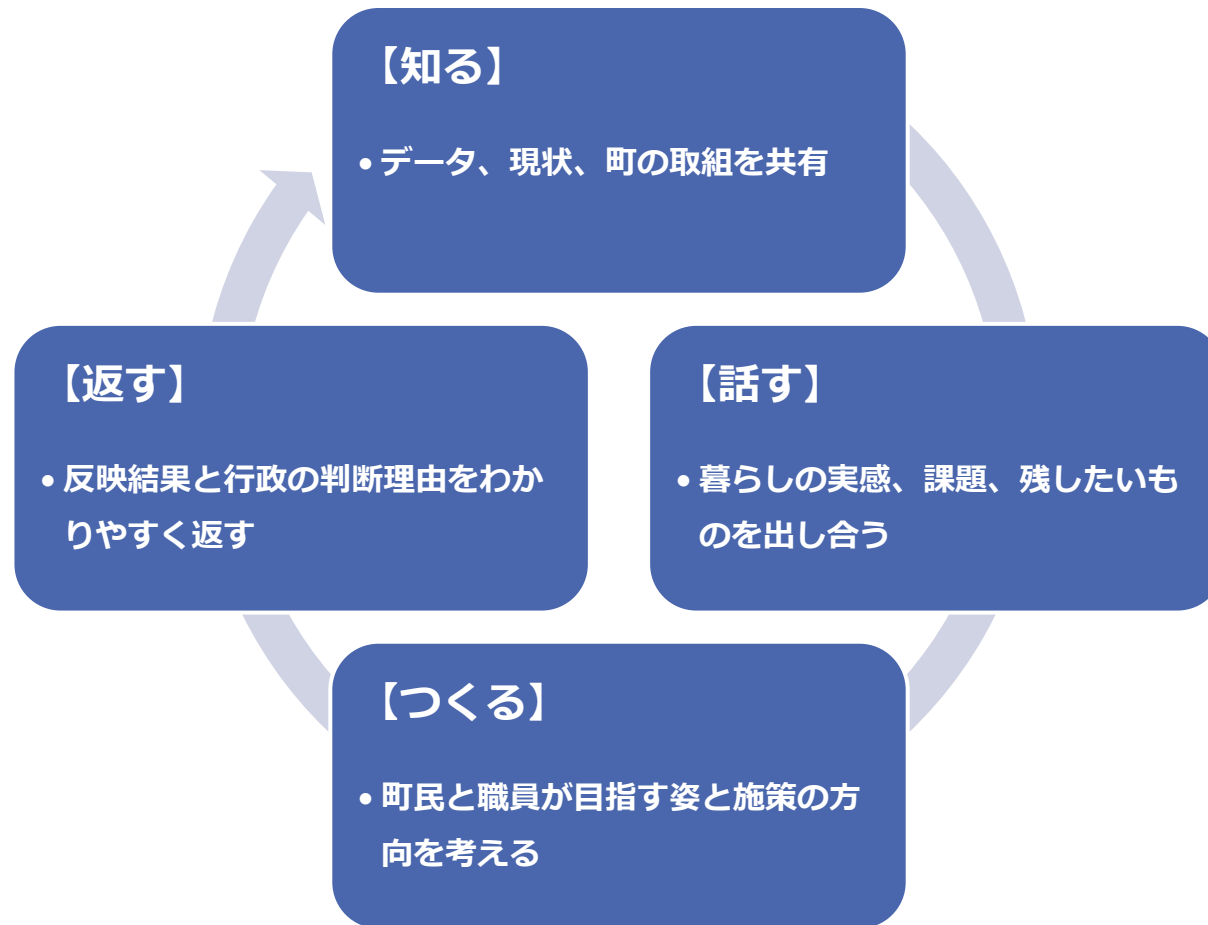
3 将来を見据え、
選択と重点化
を行う計画

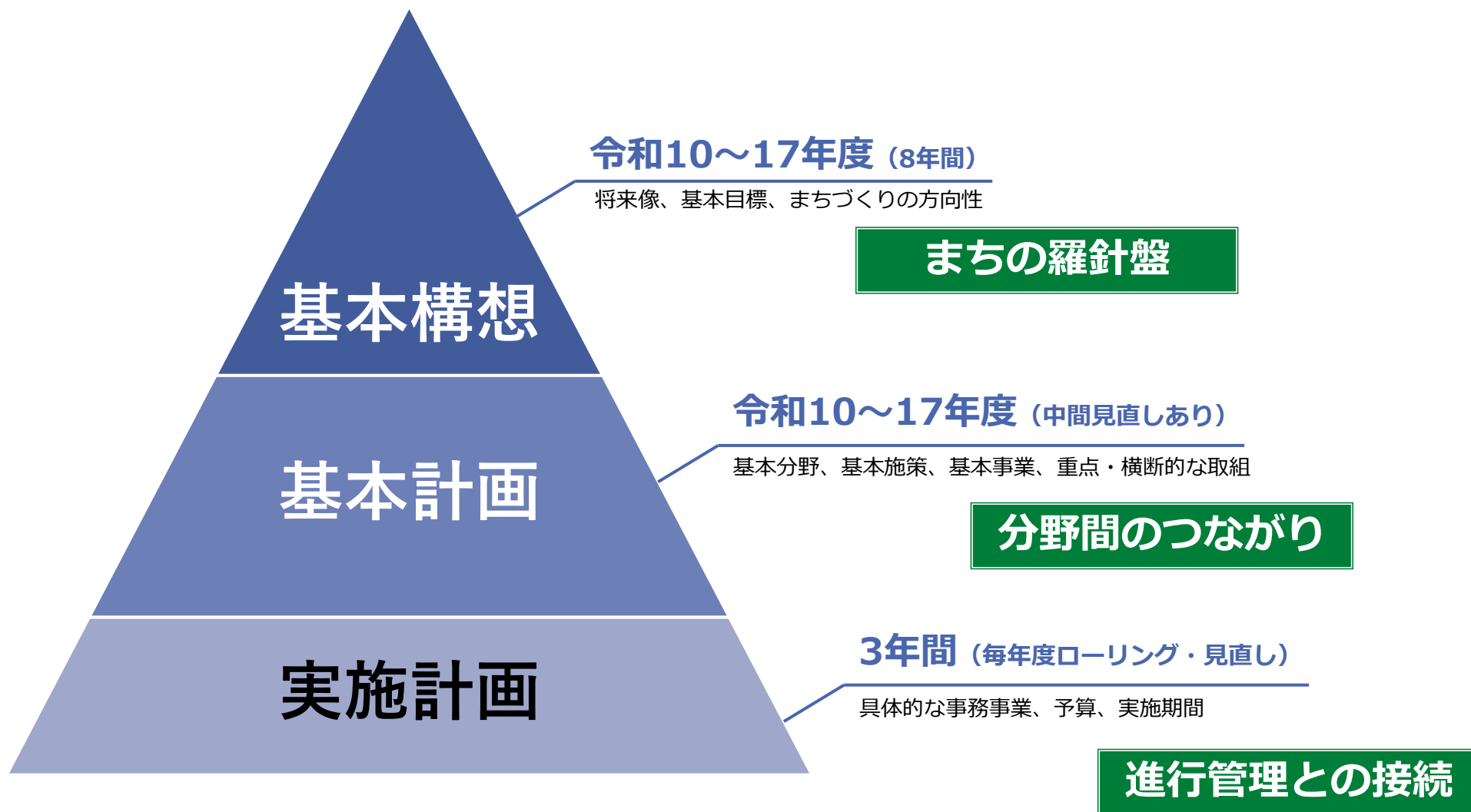
5 職員が自分事
として使う計画

4 分野を越えた
課題に対応する計画

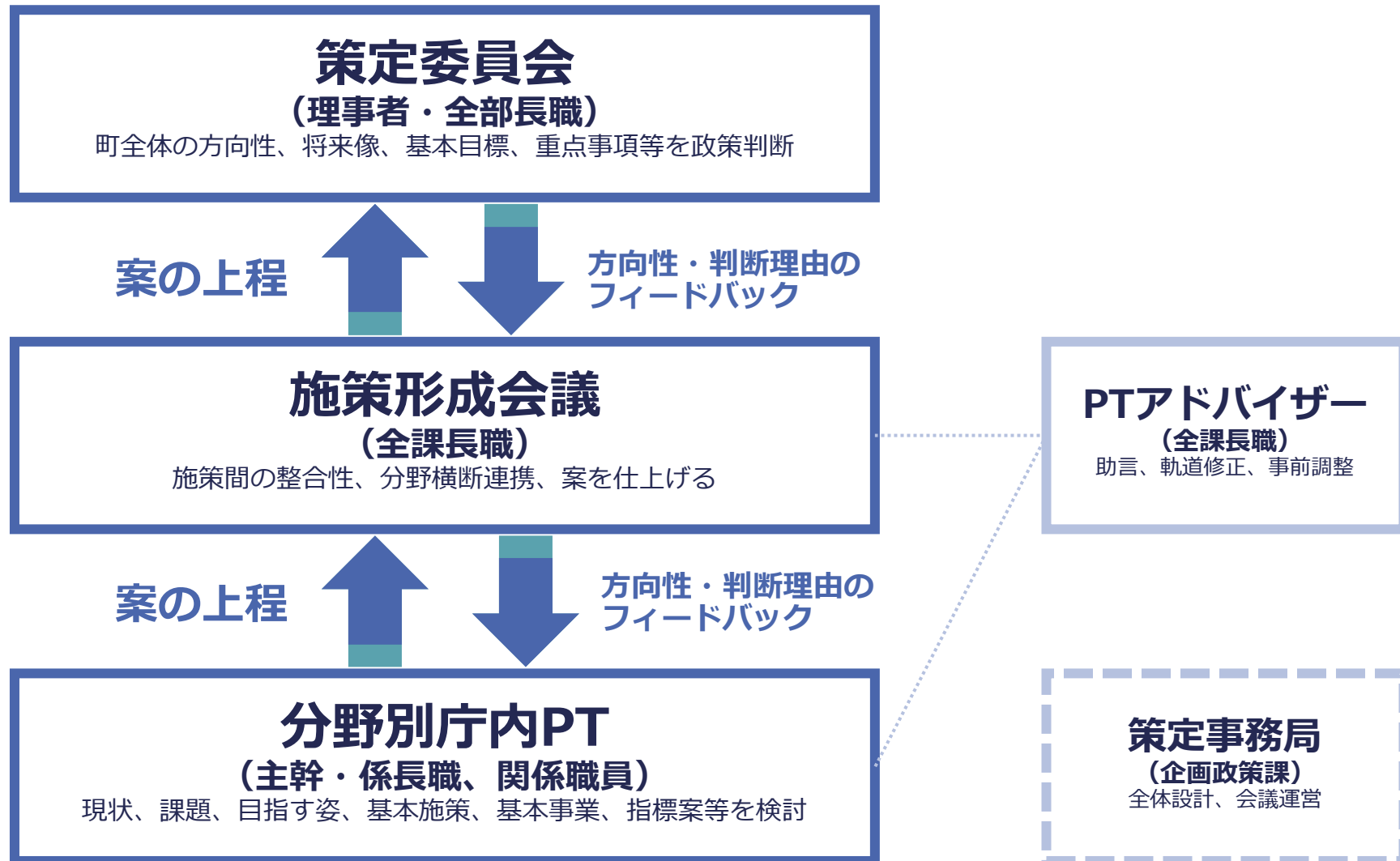
7 策定過程と成果
を継続的に発信
する計画

「意見を聞くだけで終わらせない」
「町民意見と行政判断を往復させる」



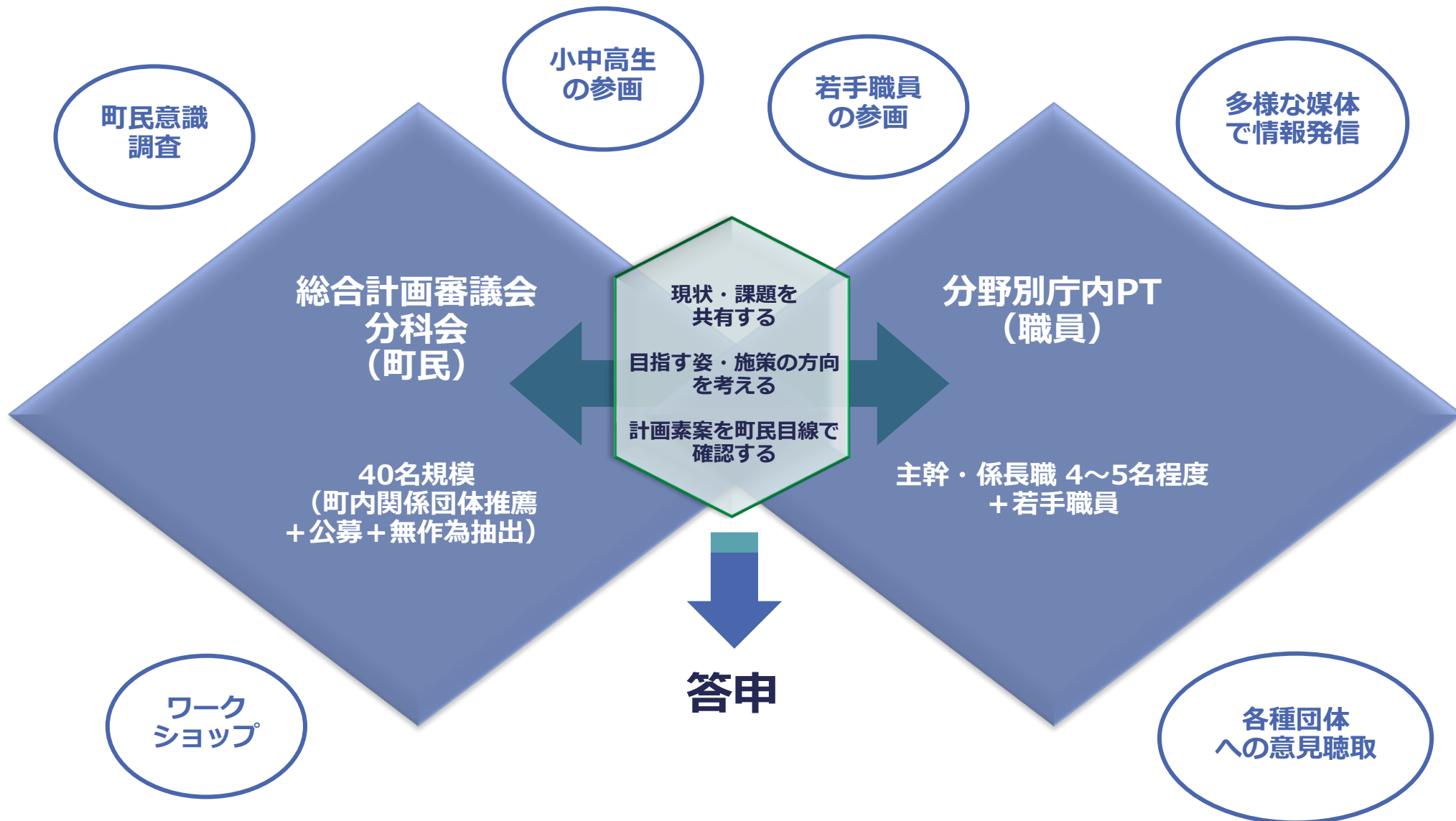


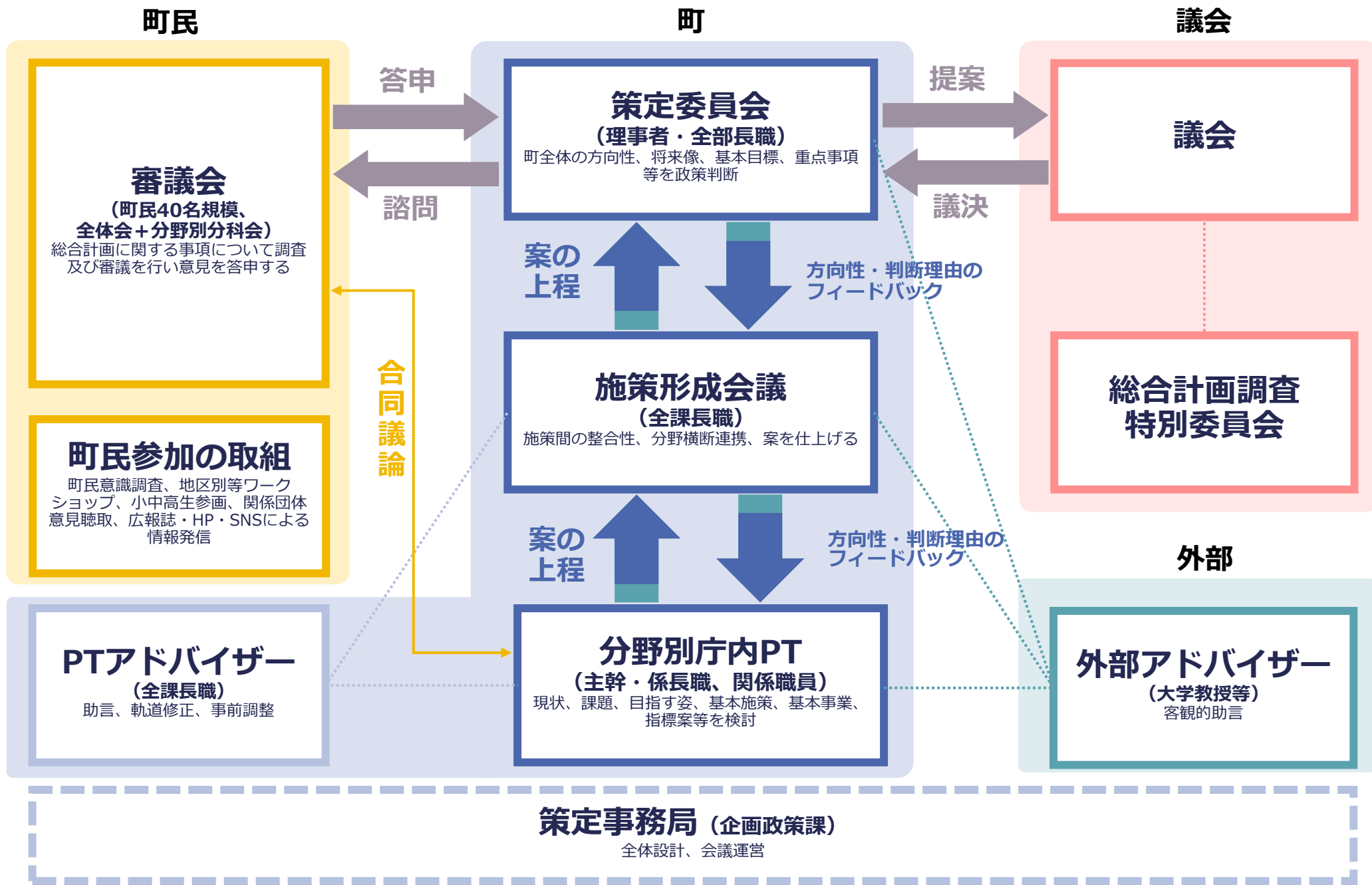
主幹・係長職以下が案を作成 ▶ 課長職が案を仕上げ ▶ 理事者・部長職が政策判断



※町以外の体制組織：審議会、議会、外部アドバイザー

審議会の中に分科会を組織し、分野別庁内PTと合同議論を複数回実施





「総合計画策定を、全職員がまちの未来を自分事として考える機会に！！」

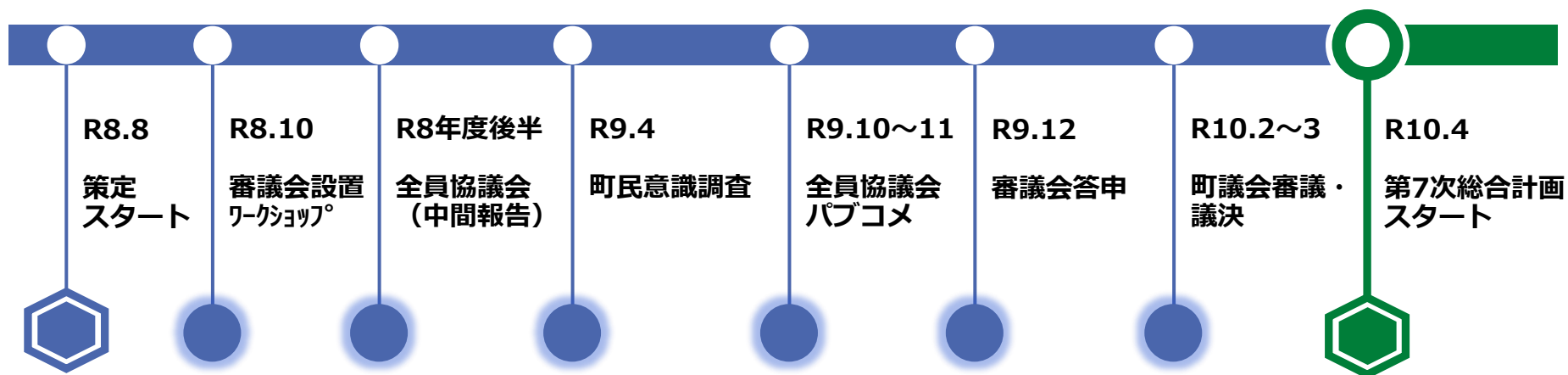


令和8年度体制づくり・町民参加スタート、
将来像・施策検討**令和9年度 前半**

施策検討、まとめ

令和9年度 後半

計画案取りまとめ



「今日が、第7次総合計画づくりのスタート」

意見交換